

社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

いとしご増刊

きずな 絆

第97号

発行2006年

3月号

3月10日



購読料1部 100円

会員は会費に含まれています。

発行人：社団法人日本自閉症協会

編集人：社団法人日本自閉症協会 奈良支部

支部長&事務局：河村舟二

〒639-1005 大和郡山市矢田山町 84-10

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

映画上映会「マラソン」 大盛況!!!

去る2月26日(日)に大和郡山城ホール大ホールにて映画上映会「マラソン」を開催いたしました。当日はあいにくのお天気やや出足が鈍るのではと心配しましたが、ふたを開けてみると、大ホールの一階部分がほぼ満席になる位たくさんの方が来て下さいました。初めての大ホールでの上映会でどの位の方が来てくださるのかとても不安でしたが、本当に良かったです。悪天候にも関わらずお越しいただきました皆様に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

そして、映画会開催にあたって宣伝活動など協力してくださった役員の皆さんを初め、会員の皆様、その他ご尽力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

当日お越し下さった皆様からこの映画を見ての感想をいただきましたので、一部ご紹介させていただきます。

●好きな事を精一杯頑張る姿が印象的でした。本当に好きなのかは本人しかわからなく、難しさを感じます。でも、きっかけを作ってあげる事は大切だと思います。

また一つ考えさせられました。良い映画でした。ありがとうございました。

(保育士)

●自閉症児の心を理解できてとても感動しました。明日から元氣を出して子供に付き合っていきたいと思いました。……

(教員)

●泣けました。保護者の思いを受け取れなかったと痛感しました。

私の見せていただいている子供さんとうずと付き合っていたらと思っていました。

(学童保育指導員)

●会場内のすすり泣き、私もハンカチをぬらしてしまいました。感動をありがとうございました!!一人の人間としてこの世に生まれてたものですね。皆平等に一生を過ごしたいです。よろしく!!……(一般)

●私も同感ですが、人は誰でも可能性を持っていることを信じています。出会いはその可能性をより伸ばす事が出来るチャンスではないでしょうか。その事をまさに映画にされたという感じでした。

……(知的障害者の母)

●評判はずつと聞いていた。是非観たいと思っていたが、期待に違わず感動した。本人はもちろん大変だが、家族や周りの者たちが大変だと思った。母親の努力に感動した。

……(甥に自閉症児がいる方)

その他たくさんのご意見、ご感想をいただきました。ありがとうございました。

もし、まだご覧になっていない人がおられましたら、是非見ていただきたい!!!

この映画を見ていただくことで、より自閉症への理解が深まっていく事と思います。

そして一人でも多くの人に見てもらえるように、ご家族やお知り合いの人には是非お勧めください。

今ではDVDも販売されており、レンタルもされております。

これからも自閉症理解の為にこのような機会をどんどん作っていきたいと思いますので、もしお勧めの映画などありましたらご一報くださいます様お願いします。最後にこの映画会にお越しいただいた皆様に心から感謝します。ありがとうございました!!

(映画担当 渡邊 智美)



★ソーシャルスキル教室に参加して

山上 航平

ソーシャルスキル教室に三回行きました。

一回目は、すぐろくで2等になりました。二回目、三回目は、ボーリングをしました。二回目は、ビリでした。くやしかったけど、次は「がんばるぞー」と思いました。

三回目は、がんばったので2等になりました。「よっしゃー！やったぞ三」と思いました。

それから、一回目には、イトーヨーカドーで、パスタとピザとジュースを自分で注文して買うことができました。でも、おとうさんと、おかあさんに「食べすぎダー」とおこられたので、二回目、三回目は、ピザとジュースにしました。

ソーシャルスキル教室が、「またあるといいなー」と思いました。

支援者実践セミナーに参加して

NPO法人あるふあ代表 村山貴美恵
去年の夏から勉強会に参加させてもらってはや半年がすぎました。自閉症の特性や関わる側の視点など勉強させても

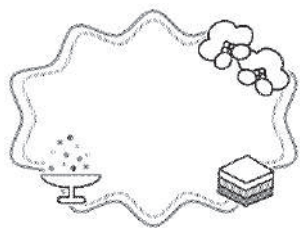
らっています。これから先、困った時など相談出来る場ができたことが大きな収穫でした。参加者が少ないのが、ちよつともつたいないなあと思っています。はいい段階での親の気付きと取り組みの姿勢が大切だと痛感しました。これからも、時々おじゃましますが、よろしく願います。

夏の仔鹿園での研修から始まって、前期療育クラスの支援・後期 ソーシャルクラスの支援と 約半年のセミナーが全て終了しました。

協力頂いた子どもさんから「次ぎはいっつ？」と 聞かれて、18年度も もっとと楽しく参加出来るセミナーを 是非計画できればと思いつつ・・・

この1年間の実践による反省と新たな目標めざして進めたらと思っています。

SKIP勉強会スタッフ



★平成18年度定期総会に参加しよう！

社団法人日本自閉症協会奈良県支部の平成18年度定期総会を下記のとおり開催いたします。本年度は記念講演を総会の前半に行い議事の審議は後半で行います。多くの会員には自閉症児者を抱えての外出は大変だろうと思いますが、年に一度の一同にかいする場であり、活動についての重要な審議の場でもありますので、なにとぞ今から条件を整えていただき全員出席されますようお願い申し上げます。

1. 日時…平成18年4月8日(土曜日)
2 場所…やまと郡山城ホール (小ホール)

大和郡山市北郡山町211番地の3

TEL0743-54-8000

E-mail : ykjh@ykjhall.jp

3. 日程…受付 12:00 から

開会行事 12:30 ~ 13:00

記念講演 13:00 ~ 15:00

後半 15:00 ~ 17:00

議事審議

4. 内容

前半 総会の開会挨拶と記念講演

講演「自閉症の支援ははじめに理解ありき」

講師 諏訪 利明 氏(奈良県海老名市わかば学園園長)

後半 社団法人日本自閉症協会奈良県支部平成18年度第9回定期総会審議

※前半の記念講演には会員以外の一般参加もできますので、担任の先生や、お知り合いの方々にお伝え下さい。県民の全てに聞いていただきたい内容です。

※どうしても総会に出席できない会員は必ず総会委任状をお送り下さい。(FAX: はがき・メールで) 文面「議事については〇〇に一任します。 日時 氏名 印サイン」

〇〇には議長・支部長・参加会員名等をお入れ下さい。

〒639-1055

奈良県大和郡山市矢田山町84の10

河村 舟二・FAX0743-55-2763・E-mail

kawafune@ares.eonet.ne.jp

本部から総会委任状 提出のお願い

☆平成18年3月8日

支部長 各位 社団法人日本自閉症協会事務局長 大平 薫

社団法人日本自閉症協会 第18回通常総会への委任状の提出のお願い 標記会議が下記のとおり開催されます。例年、

委任状の提出は、総会成立のための過半数ぎりぎりです。現在のところ、まだ約3千枚しか送られてきていません。今回は、定款変更を予定しています。総会が成立するためには、委任状の提出を含め正会員総数の4分の3以上の参加が必要です。正会員数が増加していると思いますから、成立するためには、9500枚以上の提出が必要となるものと思われます。

いとしごNo.96(1月号)に貼付した葉書により委任状を提出していただきたいのですが、このままでは必要枚数を確保することは困難です。お忙しいところ誠に恐れ入りますが、委任状の葉書を増刷いたしましたので、今回に限り各支部で取りまとめ提出していただきますようよろしく願います。

日時 平成18年5月14日(日) 午後一時から3時

場所 こどもの城研修室 東京都渋谷区

区神宮前5-53-1

TEL 03-3797-5677

議題 ①平成17年の事業報告及び決算報告 ②平成18年度事業計画及び収支予算 ③その他

※支部総会の委任状と間違えないようにしてください。

残念

ながら締め切りましたが

今年7月よりスタートする全国123社の新聞における自閉症啓発キャンペーンですが、公共広告機構の審査会が終了し、3作品が候補として上がってきました。今週中(3月9日締め切り)に協会はこの3つの作品から一つを選択することになります。皆さんのご意見をお聞かせください。

①どの作品が良いと思うか?

作品番号1つと選考理由

選外となった作品について、

②残りの2作品それぞれについて、選外となった理由

○作品1

「お母さんを責めないで」

○作品2

「普通に見える、という障害」

○作品3

「自閉症になったんじゃない。

自閉症に生まれてきただけ。」

ではご意見お待ちいたしております。

AC公共広告機構「自閉症啓発キャンペーン」選考結果について候補3作品

1. お母さんを責めないで
2. 普通に見える、という障害
3. 自閉症になったんじゃない。

選定結果…3

選定理由…わかりやすく、インパクトがある。情的な訴えでなく、本質に迫るものが「生まれてきただけ」にある。空間があつて芸術的で良い。子どもへの直接的支援がこの言葉の裏にみえている。写真も目を引くのではないか。外見的に分かりにくい障害の悩みを伝えたい。文字通りの意味のフレーズが良いと思う。自閉症は後天的なものではなく、先天的な障害である旨が推察できる。本人の気持ちを代弁している。一番基本的に皆に知ってほしいことだ。写真が良い。自閉症が生まれながらであることが短い文で表している。自閉症という言葉が2回使われているので、自閉症の広告であることが人目で分かる。原因が育て方ではないこと、治るということはなく生涯何らかの支援が必要なことを含めたメッセージだ。自閉症が発達障害であることが伝わる。今いろいろな情報の中で、自閉症の名を目にする機械も増えた今、一般の方も興味を持って見てくれると素人目に

思う。

要望…「自閉症は障害であることをまず知ってください」はもう少し大きくても良いのではないか。「自閉症に生まれてきただけ」というカラッとしたせりふにふさわしい写真だと良い。写真は孤独感が漂い誤解を招きそうだ。写真はもう少し明るいものが良い(例えば、一生懸命働いている姿とか、前向きに生きていることがわかるもの)。写真は自閉症の可愛らしさが伝わるものが良い。写真を変えてくれたら支持する。

意見…ネガティブに捉えられる可能性もったという偏見をイメージしてしまふ。自閉症は先天的な障害だという事実がわかるが、「だから?」という先に踏み込んでいない。このコピーに2の写真だともっと良いのでは。「自閉症」それがどうした、ということで見過ごされそう。

選外理由、1について

意見…自閉症が心因性障害という誤解を避ける意図だろうが、少し古すぎると思う。

母親の責任だと断定しているようだ。お母さんの問題だけにしてはいけない。親の育て方が原因と思っている人もいるのでちよつと強すぎる。子どもを前面に押し出したほうが良い。この広告はこども

に対して親が言い訳をしているようにも思える。親が見るとしたら良いコピーだが、お母さんだけに焦点があるように思える。わかりにくい。母親として共感できるが、辛い気持ちがかえって重く感じる。単なるしつけのできない親子との区別が難しいので、自己弁護のキャンペーンと取られると辛い。マスコミでセンセーショナルに取り上げられるほどになれば、それはそれでまた別の意義があるとは思いますが、慎重にしたほうが良いのではないか。「お母さんを、責めないで」に「ぼくが自閉症だからこそ」の意味合いを加えたい。「自閉症」は生まれながらの発達障害の部分強調する。お母さんが何か悪いことをしたのか、というイメージがでてきそう。写真が暗いような気がする。育て方の部分が（言葉のみでなく）もう少し分かりやすいと良い。「虐待」のキャンペーンと間違われそうな響きがある。理解や支援をしてもらいたいのには「母」より「本人」が優先だと思う。母として違和感がある。世間を責めることになる。母源病という本を思い出す。AC公共広告機構内でこれが一位と聞いて驚いた。対象は母親ではない、子どもたち本人が対象ではないか。表現が曖昧、自閉症と結びにくい。誰の、言葉なのか。やさしく良いが焦点がぼやけてしまう可能性がある。

肯定…母親を周囲が責めている現状にストップをかけ、母親を救うというアクション

の優先順が高いと思う。母親として共感できる。心情的には一番訴えたいことだ。回りに言えず悩んでいるお母さんを支援するという、啓発の目的を絞る形での今回の行動目標が立てやすいのではない。家庭環境や育児に原因があるという親への偏見をなくしたい。育て方のせいではないということ、母を責めては困る、ということが前面に出ている。興味を引くコピーだ。健常の子のおかあさんにも自分に関係ありそうだと思う。わせる言葉だ。

選外理由、2について

意見…一般の人にはわかりづらい、表現不足。写真の顔が強すぎる。写真が大きすぎ

て圧迫感がある。写真は大きい、お子さん自身に訴える力をあまり感じない。普通に見える障害は自閉症に限らない。写真の子どもがもう少し自閉症のよう

だとなお良いが。わかりにくい。「一見普通に見えるけれど・障害があります」と素直に訴えたほうがわかりやすいのではない。普通に見えることが多いのは外見だけで、言動は普通に見えない：そのギャップで母親や本人は責められるので、そのあたりが表現できていな

いと、さらなる誤解を生みそうです。自閉症に対する誤解があるということを啓発する効果はあると思うが、背景が「自閉症」という言葉から来るイメージを助長するものであり、逆効果になる可能性もはらんでいるのではない。読者に伝えたいことが難しく、自己満足 of 広告になってしまふ。つかみどころがない。普通に見えるからこそ、困る事が多い。顔のアップの写真は難しい選択、これだけアップになると自閉症の子のシンボルとしてのメッセージもあわせ持つ映像になるため、対外的なことというよりは、身内側（協会会員内）からの評価が厳しくなる気がする。「障害ではないじゃん」というような流れを生みそうだし、別の長い説明が必要になってくる。逆に「個性の一つ」なんていう極論も導かれることも怖い。何をもつて「普通」と表現するのか、解釈の幅に個人差が生じる。自閉症の障害特性について多少知識がある人向けのコメント。普通の顔は知的遅れの自閉症を連想させない。

肯定…不特定多数の目から見ると、最も注意を引くフレーズで、それに引かれて本

文を読んでくれそうに思う。一見普通に見えることで理解されにくい事が問題だと思ふ。普通に見えなかったら、自閉症の困難さはもう少し楽だったろう。

興味を引くコピーだ。自閉症の特徴の一つを現している。

尚、広告が決定した後はいよいよ募金活動の開始です。

どのような募金活動の展開がよいでしょうか！？皆さんのアイデアをどしどしお寄せください！

また決定した作品を印刷して支部に配布することも可能です。

募金がたくさん集まったら（印刷代まで？）そんなことも出来るかと思ひます。

こんなポスター（白黒）があつたら？？

①あなたの支部では活用したいですか？

②何枚くらい必要ですか？

支部名を添えてご希望をお知らせください。

ご希望が多ければACに見積もりをお願いしたいと思っています。

副会長 氏田照子

編集後記

奈良に春がくるのは、お水取りが終わってからと言われています。日差しも日に日にのび、ウグイスが鳴き、春がそこまで来ていることを実感します。